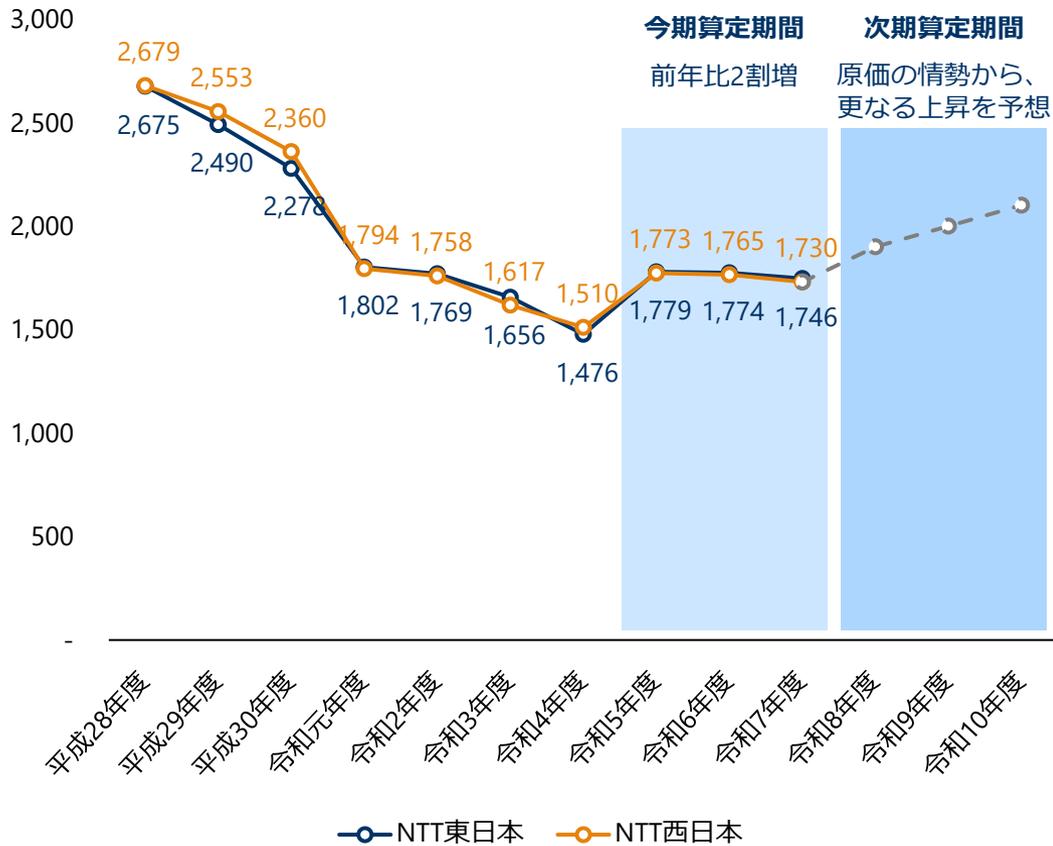


第一種指定電気通信設備に係る 接続関連システム経費の適正性について

2023/12/19

- 令和5年度接続料においては、大幅な値上げがなされ、今後も報酬水準等の上昇が見込まれる中、接続料の適正化による競争の活性化の議論が必要であると考えています。ご説明の機会をいただき、感謝申し上げます。

シェアドアクセス接続料の推移



令和5年度
改定の振返り

- ▶ 電柱土木関連費用の配賦増に加え、COVID-19影響からの離脱に伴う報酬増により、2023年のSA単価は前年比2割増

今後の見立て

- ▶ 日銀の金融政策の温度感の変化を踏まえ、リスクフリー・レートは上昇傾向であり、次期算定期間で更なる値上げが予想される
- ▶ 足下の物価高は上昇を続けており、乖離額調整による値上げも予想される

競争活性化に向けて、更なる適正化が必要

更なる適正化
に向けた
今後の論点
(弊社想定)

接続料の適正化による競争活性化に向け、弊社としては下記論点が存在すると思料

光回線主端末回線

- ▶ 設備管理運営費（電柱土木関連）
- ▶ 効率化率3%の適正性
- ▶ 適正報酬の精緻化（自己資本比率、ERPの精緻化）

回線管理運営費/分岐端末回線

- ▶ システム開発経費の適正化に向けた情報開示 **本日メイン**
- ▶ 光配線区画、収容効率の適正化

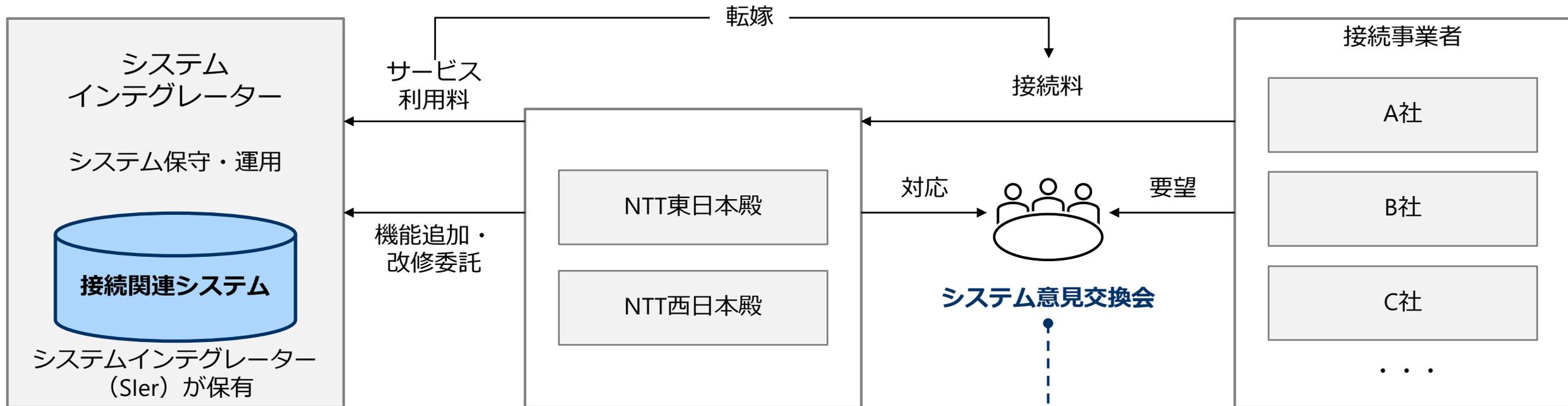
アジェンダ

参照

システム開発経費について

-
- | | | |
|---|-----------------------|-----|
| 1 | 事業者間において行われている現在の取組状況 | P.3 |
| 2 | 現状取組を踏まえた問題意識 | P.6 |
| 3 | システム開発経費に対するご提案 | P.9 |
-

- NTT東西殿が、システム意見交換会にて事業者要望を取りまとめの上、システムを保有するSIerに開発を委託
- 開発費用は、サービス利用料としてNTT東西殿からSIerに支払われた上で、接続料に転嫁



- 接続関連システムの改修、機能追加について、NTT東西殿と接続事業者間で協議
- 主に各種改修・開発のスケジュールの共有や、事業者からの機能追加の要望に対する対応が通告される

赤枠内は構成員限り

- システム意見交換会は年に2回開催され、事業者からの改修要望に対して、対応と開発費用が開示される
- 過去3年間では、14項目の要望にご対応いただき、東西合わせて 百万円の改修がなされた

#	要望者	要望事項	影響箇所	開発費 (百万円)		要望時期
				NTT東日本	NTT西日本	
1		随時請求費用のシステム開示	画面、CSV、メール			2019年
2		廃止申込前における収容ビル毎の稼働照会	画面			2020年
3		非即決申込時の緯度経度情報のシステム連携	画面			2020年
4		即決申込前の住所登録における緯度経度情報のシステム連携	画面、CSV、メール			2020年
5		加入DFの申込業務における保留引込線再利用時の即決対応	画面			2020年
6		ぶち工事申込のシステム化	画面、CSV			2020年
7		納期回答遅延理由等の拡充および専用項目化・履歴参照	画面、CSV、帳票			2020年
8		局内DF納期遅延通知機能の実装	画面、CSV、帳票、メール			2020年
9		DF各種申込時におけるビル名あいまい検索の対応	画面			2021年
10		ファイル連携画面の機能改善	画面			2021年
11		加入DF廃止申込時における事業者連絡先の入力対応	画面、CSV			2021年
12		加入DF納期回答状況の情報提供対応	画面、CSV			2022年
13		設備検討資料等の要求にかかる専用項目化およびステータス管理	画面、CSV			2022年
14		中継DFにおける工事進捗状況のCSV出力機能の追加	画面、CSV			2022年
総計						

出所：第26回～第30回システム意見交換会資料より作成

赤枠内は構成員限り

- 各社からの機能追加・改修に関する要望について、システム意見交換会では、各社の要望それぞれに対して、①システム上の影響箇所（画面、CSV等）、②開発概算額、③接続料金への影響、④運用開始予定時期を開示頂いている

例：弊社要望に対する回答資料

資料27-2-8 第25回 ソニーネットワークコミュニケーションズ様
光ファイバ開通申込受付システム

2. 加入ダークファイバの申込業務における 保留引込線再利用時の即決対応

1. 概要（接続事業者様からのご要望内容）

- 現在、加入ダークファイバ（シェアアクセス）において保留引込線再利用を希望される場合、接続事業者様の自前キャビネットまでの提供となる構成では即決申込をご利用頂くことができません。
- 接続事業者様より、自前キャビネットまでの提供となる構成であっても、保留引込線再利用希望時に即決申込が可能となるようご要望を頂いています。

① 検討内容及びシステム上の影響箇所

- 自前キャビネットまでの提供となる構成であっても、保留引込線再利用希望時に即決申込を可能とします。
- 影響箇所：画面（NTT東西）

現在
申込

<即決申込>

接続事業者様 → 自前キャビネット構成の場合、保留引込線再利用希望時は即決申込不可（非即決申込に限定） → 光ファイバ開通申込受付システム

<非即決申込>

接続事業者様 → 光ファイバ開通申込受付システム

開発後
申込

<即決申込>

接続事業者様 → 自前キャビネット構成の場合も、保留引込線再利用希望時に即決申込可（非即決申込も可） → 光ファイバ開通申込受付システム

<非即決申込>

接続事業者様 → 光ファイバ開通申込受付システム

② 開発概算額 東日本 百万円、西日本 百万円

③ 接続料金への影響(※1) 回線管理運営費 東日本： 円、西日本： 円

④ 運用開始予定時期 東西：2023年2月

※1：2019年度実績の費用及び回線数に基づき試算した結果であり、今後SO管理等に係る費用及び回線数等が変動した場合には実際の影響額と異なることとなります。

検討内容及びシステム上の影響箇所

- 各社要望に対するNTT東西殿の対応内容
 - システム上の影響範囲
(画面、CSV等への影響のみ記載)

開発費概算額

- 想定される開発費の総額
(総額のみ記載し、根拠情報は一切開示なし)
 - NTT東西殿で共通の場合は、費用が按分されて表示

接続料への影響

- 総開発費を接続料に反映した場合の影響額

運用開始予定時期

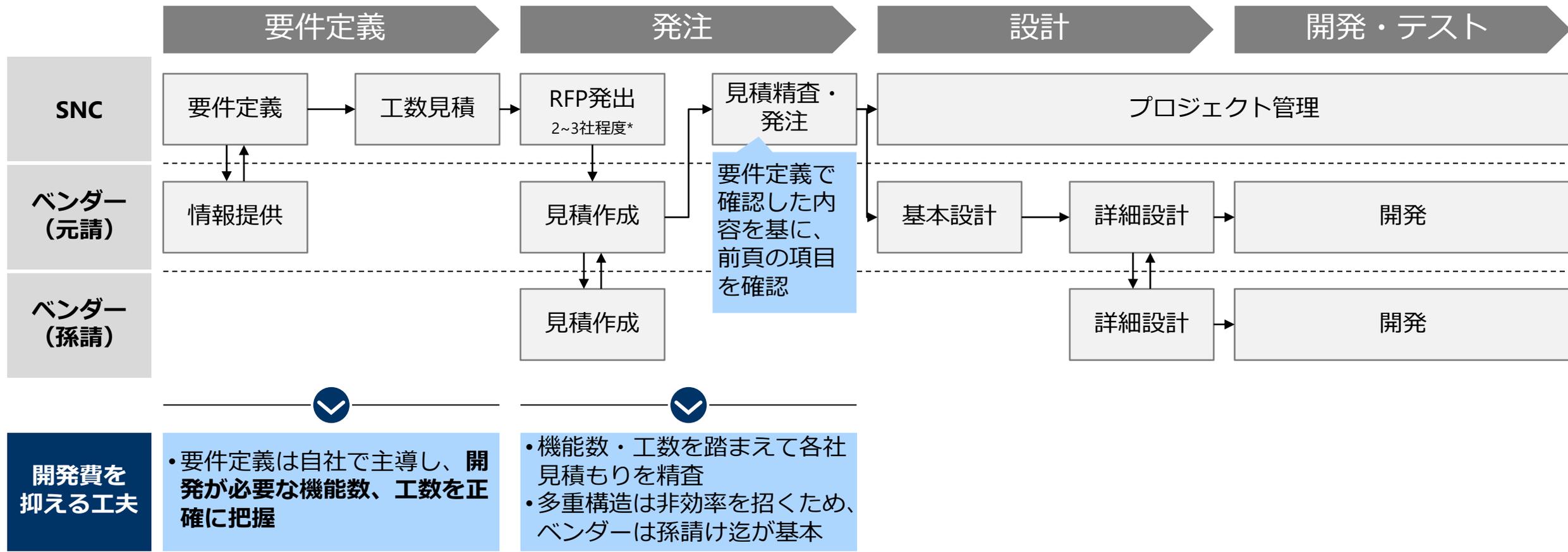
- 弊社でシステム開発を行う際には、機能数や工数を精査した上で、見積の妥当性を判断
- NTT東西殿に開示頂く情報だけでは、開発費の根拠となる情報が何も記載されておらず、妥当性を判断できない

見積の根拠情報

システム開発で弊社が確認する項目		概要	NTT東西殿からの開示
1	作業範囲	委託する作業範囲に認識の齟齬はないか	△ 接続事業者が見える範囲のみ
2	開発する機能	開発・改修が必要な機能のみが必要十分に含まれているか（余分な機能が含まれていないか、必要な機能が抜けていないか）	×
3	フェーズごとの工数	作業範囲・対象機能に照らして、不必要な工数が追加されていないか	×
4	開発体制	多重請負構造により、不必要な管理工数を要する体制となっていないか	×
5	総開発費	他社と比べて高すぎる金額になっていないか	○

NTT東西殿、および委託先システムインテグレーターの経営情報に触れる内容もあるため、すべてを開示できないことは理解できるものの、**現状の開示情報だけでは開発費の妥当性を判断するための根拠情報がほぼ開示されていない**

- 弊社でシステム開発・改修を行う際には、最初に要件定義を自社中心で行い、開発が必要な機能数・工数を正確に把握
- 機能数・工数を詳細にわたって把握することにより、開発の主導権を握り、ベンダーの言い値で費用が高止まりすることを防止



* : 機能追加がない単純な改修であれば、既存ベンダーに随意発注することもある

これまでの改修要望に対する開発機能数（想定）

赤枠内は構成員限り

- 弊社の機能当たり開発費の水準からすると、 の改修を要していると推察される項目や、影響箇所が同じ開発においても想定機能数に大きくバラつきがあることから、現状の情報のみで判断すると開発規模の適正性に違和感がある

弊社委託水準（1機能当たり 円）に基づく想定開発規模

#	要望事項	影響箇所	開発費 (東西総額/百万円)	想定機能数 (1機能 と仮定)
1	随時請求費用のシステム開示	画面、CSV、メール		
2	廃止申込時における収容ビル毎の稼働照会	画面		
3	非即決申込時の緯度経度情報のシステム連携	画面		
4	即決申込前の住所登録における緯度経度情報のシステム連携	画面、CSV、メール		
5	加入DFの申込業務における保留引込線再利用時の即決対応	画面		
6	ぶち工事申込のシステム化	画面、CSV		
7	納期回答遅延理由等の拡充および専用項目化・履歴参照	画面、CSV、帳票		
8	局内DF納期遅延通知機能の実装	画面、CSV、帳票、メール		
9	DF各種申込時におけるビル名あいまい検索の対応	画面		
10	ファイル連携画面の機能改善	画面		
11	加入DF廃止申込時における事業者連絡先の入力対応	画面、CSV		
12	加入DF納期回答状況の情報提供対応	画面、CSV		
13	設備検討資料等の要求にかかる専用項目化およびステータス管理	画面、CSV		
14	中継DFにおける工事進捗状況のCSV出力機能の追加	画面、CSV		

影響箇所は同じである一方で、開発費や想定機能数に大きなバラつきがあり、違和感がある

現状の開示情報だけでは、想定ベースで開発規模を推し量った上で適正性を判断することとなり、健全な議論ができない

- システム意見交換会を、単純に各社要望に対する開発費を通告する場ではなく、本来の趣旨通り、システム改修の要否を意見交換する場とするため、開発費の妥当性を判断するために必要最低限の情報を開示頂きたい

現状

- ▶ 接続関連システムの機能追加・改修は、NTT東西殿が接続事業者各社の要望を取りまとめの上、委託先のシステムインテグレーターに開発を委託し、開発費用を回線管理運営費に転嫁している
- ▶ 機能追加・改修に係る費用は、システム意見交換会において共有

問題意識

- ▶ 弊社でシステム開発を外部に委託する場合、要件定義を自社内でハンドリングし、開発が必要な機能数や工数を詳細に把握した上でベンダー側の見積を精査することにより、開発費の妥当性を判断
- ▶ 接続関連システムについては、NTT東西殿からは開発費の総額しか示されず、その根拠となる情報のほとんどが非開示であるため、事業者として、開発費の水準を踏まえてもシステムの機能追加を要望すべきか否か、適正に判断できない

ご提案

- ▶ **各要望への対応について、以下を追加的に開示頂き、事業者側で開発費の妥当性を検証できるようにしていただきたい**
 - **各要望に対して改修が必要な機能数**
 - **各機能の改修に必要な工数（具体的な人月単位の工数を開示できなければ、開発期間と体制だけでも可）**
- ▶ **また、システム開発のフローとして相見積もりを実施されているか、について確認させて頂きたい**
- ▶ **更に、既存システムの保守運用及び更新が行われる際も同様に追加的な情報開示頂いた上で、システム開発経費低廉化に向けた交渉をお願いしたい**

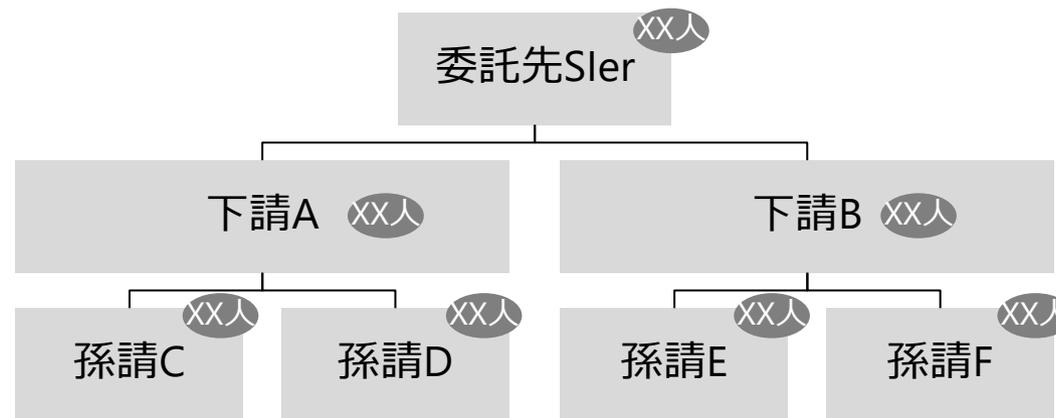
- 開発に必要な工数とその内訳、および全体の体制・スケジュールを開示頂きたい

必要な工数とその内訳
(何のために、どの程度の工数を要するか)

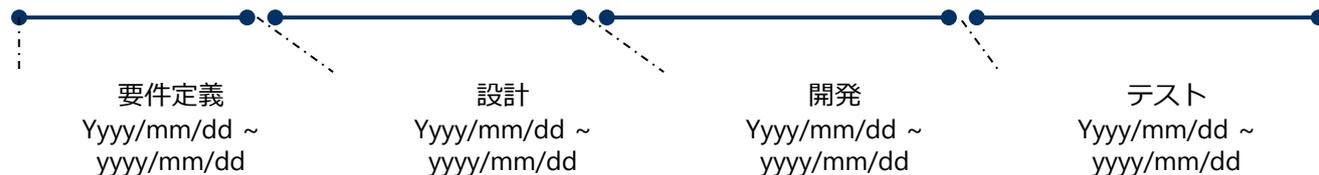
追加・改修機能	工数				
	要件定義	設計	開発	テスト	運用保守
1 XXXに関する専用カラム	XX人月	XX人月	XX人月	XX人月	XX人月
2 XX⇔YYのバッチ処理	XX人月	XX人月	XX人月	XX人月	XX人月
3 XXX.csvアップロード画面	XX人月	XX人月	XX人月	XX人月	XX人月
4 XXX.csv出力画面	XX人月	XX人月	XX人月	XX人月	XX人月
...	...				
...	...				
...	...				
計 XX機能	XX人月				

何社程度が開発に関与しているか
(具体的な社名は不要)

開発体制



開発スケジュール



SONY

SONY is a registered trademark of Sony Group Corporation.

Names of Sony products and services are the registered trademarks and/or trademarks of Sony Group Corporation or its Group companies.

Other company names and product names are registered trademarks and/or trademarks of the respective companies.